

- 米主要企業の1-3月期決算は、S&P500種指数採用企業の増益率が前年同期比+31.9%と推計されている。市場予想を上回った企業数の比率は高く、決算発表につれて上方修正が進むかたち。
- 同指数の過去最高値更新後、米国株式市場は足もとでハイテク株を中心に下げが拡大する場面も。先行き楽観的と思われるが、割高感もあり、予想を下回る決算に対して売りが強まる可能性がある。

## 米主要企業の1-3月期決算は3割以上の増益推計

米主要企業の1-3月期決算は、S&P500種指数採用企業の増益率が前年同期比+31.9%（4月20日現在、リフィニティブ集計）と推計されています。

決算発表済み企業のうち、1株当たり利益が市場予想を上回った（ポジティブ・サプライズ）企業数の比率は85.9%と、過去10年間の平均である71.2%を大きく上回っています（4月21日現在、ブルームバーグ集計）。

同決算の増益率推計は4月1日時点で前年同期比+24.2%だったことから、決算発表につれて上方修正が進むかたちとなっています。

## 割高な状況は悪材料に対して比較的ぜい弱とみられる

米国株式市場では、S&P500種指数が4月1日に初めて4,000を超え、16日までの11営業日のうち8営業日で過去最高値を更新しました。

しかし、その後は19-20日の2日間でフィラデルフィア半導体株指数が4%下落するなど、ハイテク株を中心に下げが拡大する場面がありました。新型コロナウイルス変異ウイルスの感染拡大が材料視されたとの報道が多くみられましたが、目新しい材料とはいえません。

一方、4月21日現在でS&P500種指数の予想株価収益率（PER）は23.6倍と、過去10年間の平均である17.2倍を4割近く上回っており、バリュエーション（株式評価の尺度）の面で過去と比較した長期的な視点からは割高感がみられます。こうした状況は悪材料に対して比較的ぜい弱とみられ、売りにつながった可能性があります。

## 今後発表される超大型成長企業の決算に注目

このほか、21日には動画配信サービス大手のネットフリックスが大幅に下落しました。前日の決算発表で新規会員数の実績、見通しともに市場予想を大幅に下回ったことが嫌気されました。

足もとの米国市場は景気や株価の先行きを引き続き楽観的にみていると思われそうですが、予想を下回る決算に対しては売りが強まる可能性があります。

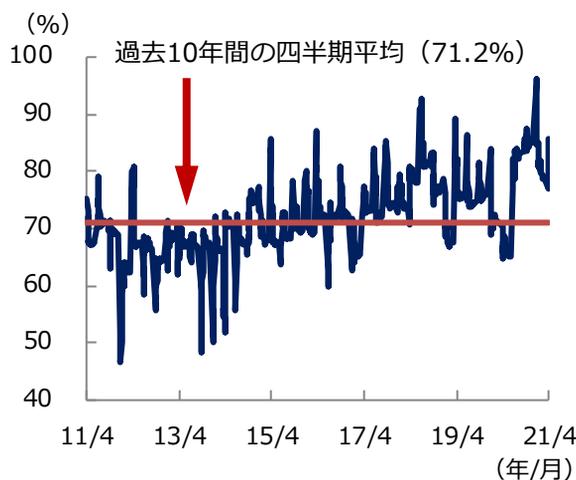
こうしたなか、来週はアップルやフェイスブック、アマゾン・ドット・コムといった時価総額で上位に名を連ねる超大型成長企業の決算発表が行われ、その内容が注目されます。

※上記個別銘柄の揭示は、取引の推奨を目的としたものではありません。

※上記は過去の情報および作成時点での見解であり、将来の運用成果等を示唆・保証するものではありません。

※巻末の投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項を必ずお読みください。

## ポジティブ・サプライズ比率の推移



※期間：2011年4月21日～2021年4月21日（日次）  
 ポジティブ・サプライズの集計対象はS&P500種指数採用企業

## S&P500種指数 予想PERの推移



※期間：2011年4月21日～2021年4月21日（日次）

出所：ブルームバーグのデータをもとにアセットマネジメントOne作成

## 投資信託に係るリスクと費用およびご注意事項

### 【投資信託に係るリスクと費用】

#### ● 投資信託に係るリスクについて

投資信託は、株式、債券および不動産投資信託証券（リート）などの値動きのある有価証券等（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）に投資をしますので、市場環境、組入有価証券の発行者に係る信用状況等の変化により基準価額は変動します。このため、投資者のみなさまの投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。ファンドの運用による損益はすべて投資者のみなさまに帰属します。また、投資信託は預貯金とは異なります。

#### ● 投資信託に係る費用について

[ご投資いただくお客さまには以下の費用をご負担いただきます。]

##### ■ お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料：上限3.85%（税込）

換金時手数料：換金の価額の水準等により変動する場合がありますため、あらかじめ上限の料率等を示すことができません。

信託財産留保額：上限0.5%

##### ■ お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用（信託報酬）：上限 年率2.09%（税込）

※上記は基本的な料率の状況を示したものであり、成功報酬制を採用するファンドについては、成功報酬額の加算によってご負担いただく費用が上記の上限を超過する場合があります。成功報酬額は基準価額の水準等により変動するため、あらかじめ上限の額等を示すことができません。

その他費用・手数料：上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。投資信託説明書（交付目論見書）等でご確認ください。その他費用・手数料については定期的に見直されるものや売買条件等により異なるため、あらかじめ当該費用（上限額等を含む）を表示することはできません。

※ 手数料等の合計額については、購入金額や保有期間等に応じて異なりますので、あらかじめ表示することはできません。

※ 上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。

費用の料率につきましては、アセットマネジメントOne株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。

※ 投資信託は、個別の投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国が異なることから、リスクの内容や性質、費用が異なります。投資信託をお申し込みの際は、販売会社から投資信託説明書（交付目論見書）をあらかじめ、または同時にお渡ししますので、必ずお受け取りになり、内容をよくお読みいただきご確認のうえ、お客さまご自身が投資に関してご判断ください。

※ 税法が改正された場合等には、税込手数料等が変更となることがあります。

### 【ご注意事項】

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が作成したものです。

● 当資料は、情報提供を目的とするものであり、投資家に対する投資勧誘を目的とするものではありません。

● 当資料は、アセットマネジメントOne株式会社が信頼できると判断したデータにより作成しておりますが、その内容の完全性、正確性について、同社が保証するものではありません。また掲載データは過去の実績であり、将来の運用成果を保証するものではありません。

● 当資料における内容は作成時点のものであり、今後予告なく変更される場合があります。

● 投資信託は、

1. 預金等や保険契約ではありません。また、預金保険機構および保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。加えて、証券会社を通して購入していない場合には投資者保護基金の対象にもなりません。
2. 購入金額について元本保証および利回り保証のいずれもありません。
3. 投資した資産の価値が減少して購入金額を下回る場合がありますが、これによる損失は購入者が負担することとなります。

【指数の著作権等】

- S&P500種指数は、S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLCまたはその関連会社の商品であり、これを利用するライセンスが委託会社に付与されています。S&Pダウ・ジョーンズ・インデックスLLC、ダウ・ジョーンズ・トレードマーク・ホールディングスLLCまたはその関連会社は、いかなる指数の資産クラスまたは市場セクターを正確に代表する能力に関して、明示または黙示を問わずいかなる表明または保証もしません。また、S&P500種指数のいかなる過誤、遺漏、または中断に対しても一切責任を負いません。